



アンダンテ

君と僕 互いの力生かし合う
共同参画パートナー

登別市男女共同参画情報紙

No.15

～性別や年齢の違いを超えて、男女が平等に
そして、自分らしく生きていくために～

平成30年度男女共同参画週間事業 男女共同参画社会に向けた作品

登別市では、男女共同参画社会について家庭や学校、職場、地域で考えるきっかけとしてもらうため、標語や習字、ポスターなどで男女共同参画社会のイメージを自由に表現した作品を募集し、6月に市民会館にて募集作品全てを展示する作品展を開催しています。

9回目となる今年度は、市内の小・中・高校生から標語 292 点、習字 970 点、ポスター18 点が寄せられました。

その中から、**標語の最優秀賞作品**を紹介します！

4年生の部

笑顔の輪
男女で協力
支え合おう

幌別西小学校 大島 大和

5年生の部

これからは
男女かがやく
未来へと

幌別西小学校 村松 友来

6年生の部

差別なし
男女協力
明るい未来

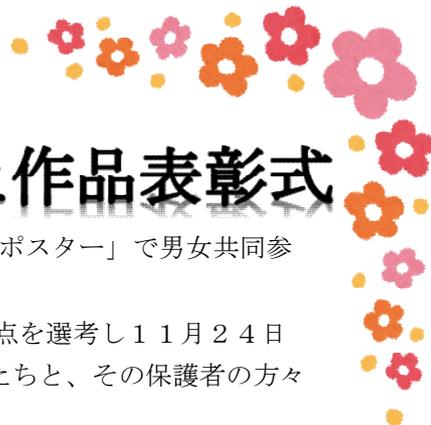
登別小学校 辻 紗也



Q.アンダンテとは??

A.音楽記号の一つである「アンダンテ」は、「歩くくらいの速さで、ゆっくり演奏」という意味です。男女共同参画の理解や取り組みが「じっくりと自分のペースで進むように」という期待を込め、名付けました。

平成30年度



登別市男女共同参画社会に向けた作品表彰式

毎年6月23日から29日までの男女共同参画週間に合わせて、「標語・習字・ポスター」で男女共同参画社会のイメージを表現した作品展を市民会館で開催しています。

今年度の児童・生徒からの応募総数は1,280点で、その中から入賞作品47点を選考し11月24日市民会館中ホールにて表彰式を執り行いました。当日は34名の受賞者の子どもたちと、その保護者の方々が集まり、伊藤副市長より受賞者一人ひとりに、賞状と記念品が手渡されました。

表彰式終了後には、登別市男女共同参画社会づくり推進会議委員が「男女共同参画」についてクイズを出題しました。親子で答えが何かを積極的に話し合っている姿が印象的でした。

女性も男性も共に個性や能力を生かして、あらゆる分野でイキイキと活動できる社会を作るためにみんなで協力して、性差にとらわれることなく自分らしく生きることの大切さを考える機会となりました。

▼受賞者全員で集合写真



▼男女共同参画を意識したクイズ



▼クイズで元気よく手を挙げる親子



▼副市長から表彰状の授与



～登別市人権啓発講演会を開催しました～

表彰式と同日の午後1時30分から、法務省人権啓発活動地方委託事業として、元プロ野球選手であり現在は野球解説者である森本稀哲さんを講師としてお招きし、登別市人権啓発講演会を市民会館大ホールで開催しました。

講演テーマは『逆境に負けない強い心をつくる』。

人権擁護委員や男女共同参画社会づくり推進会議の委員も協力のもと、当日はおよそ550人もの市民の方々が集まり、大盛況のうちに終わりました。



男女共同参画社会づくり推進会議とはどのような組織なのか？
次のページでご紹介します！

登別市の設備会社で働く女性へのインタビュー！

今号では、平成24年に入社し、「株式会社管工設備」で技術職として働く小島三菜子さん(31)を紹介します。株式会社管工設備は、排水管や給湯・暖房設備、ボイラーなどを、設計から施工、管理、アフターサービスまで手掛けている総合設備会社です。現在、女性職員は小島さんを除くと事務員に一人だけだそうです。

Q1. 今の仕事をするきっかけはなんですか？

始めは事務員として入社したのですが、半年足らずで事務作業が自分に向いていないことに気づきました。そんな中、親方に呼ばれて段ボールの片付けを手伝った際に、体を動かせる喜びからニコニコしている私を見て「体を動かす仕事の方が楽しいんじゃないか？」と言っていただき、事務職から技術職に転身しました。



Q2. 全くの未経験から技術職に就いたのですね！

最初は道具の名前から全くわかりませんでしたね。「トンカチ」じゃなくて「げんのう」だとか。今は実務経験が必須となる、給水装置工事主任技術者と管工事施工管理技士の資格を持っています。

Q3. 休暇制度については・・・

有給は取得しやすい雰囲気職場です。また、産休はありますが、私が初めての事例となりますので(笑)今後妊娠した際に自分がどこまで今まで通りの技術職としての仕事をやらせてもらえるのかが気になります。あとは、責任ある立場になればなるほど妊娠しづらいなあという気持ちは正直ありますね。

Q4. 女性ならではの視点で一言！

ヘルメットを被って現場に行くと、「お兄ちゃんかと思ったらお姉ちゃんだった！」と驚かれることもあります。実体験を踏まえて主婦目線でお客さんと話すようにしています。また、力仕事の多いこの仕事で、女性だから甘やかして欲しい訳ではないですが、男女の体力差については理解してほしいと思います。



～性別にとらわれず自分のやりたいことを選択することに理解のある会社だと感じました～



登別市男女共同参画社会づくり推進会議の活動紹介

当推進会議は、平成14年市において「男女共同参画基本計画」が策定されてから、市民による計画の進行管理及び推進体制として組織され今年度で16年となります。任期は2年で公募の7名と下記の13団体から推薦された委員合わせて20名で組織されています。年6回ほどの全体会議の他、それぞれの部会に分かれて男女共同参画に関する事業に取り組んでいます。

【構成団体紹介】のぼりべつ男女平等懇話会・登別消費者協会・登別市校長会 国際ソロプチミスト登別・登別市私立幼稚園協会・登別市社会福祉協議会 登別市連合町内会・登別商工会議所女性会・登別商工会議所青年部・プラタナス 登別室蘭青年会議所・登別市PTA連合会・連合北海道登別地区連合会



広報部会

- ・ 広報のぼりべつ 11月号に特集掲載
- 内容：国・道・市等の施策や法、制度改革の内容紹介やDV防止の啓発

フォーラム部会

- ・ 毎年11月に向けて要綱等の検討
- 内容：男女共同に関する著名人による講演会

男女共同参画に向けた作品展の開催

- ・ 男女共同参画週間(6/23～29)に合わせ、作品(標語・習字・ポスター)募集/審査
- ・ 表彰式は秋のフォーラムに合わせ実施

アンダンテ部会

- ・ 男女共同参画に関する情報紙発行(3月)
- 内容：男女共同参画の作品の紹介・小学4年生向け啓発冊子アンケート結果・市内で活躍する女性紹介等

小学4年生向け啓発冊子の作成・配布

- ・ 市内小学4年生とその保護者を対象とし、男女共同参画についての啓発冊子を配布/アンケートを実施
- ・ アンケート結果は学校に通知及び情報紙に掲載

小学4年生向け啓発冊子アンケート結果

登別市では、平成16年度から、男女共同参画の啓発冊子（アンケート方式）を小学4年生とその保護者を対象に実施しています。ご協力いただきました児童、保護者の皆さまありがとうございました。

児童への設問は10問、保護者は7問ありますが抜粋してご紹介いたします。

児童向けジェンダーチェック（回収率 66.8%）

★野球やサッカーが好きな女子や手芸が好きな男子がいたっていい。

	人数	%	前年度(%)
はい	244	97.6	98.8
いいえ	4	1.6	0.6
無回答	2	0.8	0.6
計	250	100	100

※どの設問に対しても男女にこだわることなく生活している児童が多く見受けられます。大人になった時に男女格差のない個人が尊重される社会になるように、子どものうちから意識することが必要に感じます。

保護者アンケート（回収率 35%）

★ジェンダーについてお子さんと話し合いましたか？

	人数	%	前年度(%)
はい	93	71.0	70.3
いいえ	35	26.7	26.9
無回答	3	2.3	2.9
計	131	100	100

★冊子をご覧になっての感想

・子どもとこういった内容は話したことがなく、良い機会だったと思います。男女平等になればいいなと思いますが、現実はまだまだです。

※個性や自分らしさについてお子さんと話し合った方が多かったです。今後も地道に啓発活動を続けていく必要があると思います。

／**知ってほしい!**／

政治分野の男女共同参画推進法について

昨年5月、「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が公布・施行されました。この法律は、簡単に表現すると【**国政・地方選挙において男女の候補者の数ができる限り均等になるように促す**】ものです(しかしあくまでも努力規定)。日本の国会議員の女性比率は、衆議院 10.1%、参議院 20.7%で世界 160 位という非常に低い水準です。女性が抱える多くの課題を政治に反映させるには、同性として女性議員の存在が不可欠だと考えられます。

今年の4月には、初めてこの法律の下で選挙が行われることとなりますので、期待したいですね。

女性プラザ祭2018へ参加して

札幌市にあります「北海道立女性プラザ」は、北海道における女性の自立と社会参加を促進するとともに、男女共同参画を推進するためのキーステーションとして平成3年11月に設置され、この開館を記念して、毎年11月に「女性プラザ祭」を開催しています。登別市男女共同参画社会づくり推進会議では、今回で3回目になりますが、平成30年11月8日(木)に開催された講演会に参加しました。テーマは『ハラスメントについて考えよう!』弁護士の立場で事例や法律を交えて講演をしていただきました。女性だけではなく男性の方の参加もありますので、多くの皆さまに興味を持って参加していただければと思います。

編集後記

●男女共同参画社会づくりに携わって、以前と比較してお互いに認め合い助け合う人たちが多く見受けられるように感じます。これからも、もっと幅広い年齢層に浸透していけるように願ってやみません。(T.N)

●男女共同参画の実現には、様々な問題がありますが、解消に向けての取組や活動が、アンダンテを通して皆さんに届くと共に、人権の尊重や男女平等意識の浸透につながることを願います。(Y.H)

問い合わせ先

登別市市民生活部市民サービスグループ 〒059-8701 登別市中央町6丁目11番地
TEL: 0143(85)2139 FAX: 0143(85)7674 E-mail: simin_danijo@city.noboribetsu.lg.jp
登別市男女共同参画情報紙「アンダンテ」第15号 発行日: 平成31年3月
企画・編集: 登別市男女共同参画社会づくり推進会議
アンダンテ企画・編集委員一同 登別市ホームページ <http://www.city.noboribetsu.lg.jp>